クームス検査（直接・間接）	910300
	担当部署
ｸｰﾑｽ検査	輸血

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		該当なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*10.輸血→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		1）輸血歴・妊娠歴・投薬歴 2）疾患名（自己免疫疾患・寒冷凝集素病等） 3）検査材料の細菌又は化学汚染、材料の不適切な保存によって偽陽性や偽陰性反応を生じることがある。
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	該当なし
検体採取の特別なﾀｲﾐﾝｸﾞ	該当なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	EDTA 血	輸血関連検査	ＥＤＴＡ－２Ｎａ（顆粒）	5.5	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	採取容器違いの検体 バーコードラベルの貼られていない検体 採血後 長時間 2～8 ℃以外で保存された検体
保管検体の保存期間	7～10 日

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　輸血部					
測定時間	当日中					
生物学的基準範囲	該当なし					
臨床判断値	該当なし					
基準値					単位	
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
パニック値	高値					
	低値	該当なし				
生理的変動要因	該当なし					
臨床的意義	直接クームス検査は、生体内で赤血球が免疫グロブリンや補体、またはその両者で感作されているか否かを検査するために用いられる。したがって直接クームス検査は自己免疫性溶血性貧血（AIHA）、胎児・新生児溶血性疾患(HDFN)、不規則抗体に起因する溶血性輸血副作用(HTR)の診断に有用である。また直接クームス検査は薬剤起因性溶血性貧血でも陽性反応を呈する場合がある。 間接クームス検査は、臨床的意義のある不規則抗体を検出するうえで最も信頼できる方法であることから、不規則抗体スクリーニングでは必ず行う。臨床的意義のある抗体はおもに IgG 型で、しばしば溶血性輸血副作用(HTR)や、新生児溶血性疾患(HDFN)を引き起こす。輸血前に不規則抗体スクリーニングを行うことは、適合する輸血用血液製剤を速やかに選択する手がかりとなる。また妊婦に不規則抗体スクリーニングを実施することで、HDFN の予知や治療方針の決定に役立つ。					